

令和2年3月23日

たんぽぽ学校の子どもたちへ (No.5)

新潟小学校 校長 吉田 隆

今日3月23日は、^{しんがた}新型コロナウイルスの^{はっせい}発生がなければ、2
^{がっしきしゅうぎょうしき}学期終業式を^{おこな}行うはずの日。ドキドキしながら^{つうちょう}通知表をもらう日
でした。^{ぜんこう}全校の^{みな}皆さんと一緒に^{しよ}終業式を^{むか}迎えることができず、^{ざんねん}残念
でなりません。

校長先生は、^{えふえむ}FM ^{ぼーと}PROTという^{かいしゃ}会社から、「^{じたく}休校中に^{がんば}自宅で^{はなし}頑張っ
ている^{ぜんけん}全県の^{おこ}小学生に^{おく}メッセージを^{ねが}送ってほしい」と^{ねが}お願いされ、
3月21日に^{ばんぐみ}ラジオ番組に^{しゅつえん}出演しました。

「もし、終業式ができたなら新小の子どもたちに、^{はなし}どんなお話を
するだろう……」そんな^{ばめん}場面を^{そうぞう}想像しながら、全県の子どもたちに
メッセージを^{つた}伝えました。

終業式の日のお話にかえて、今日はラジオで伝えたメッセージを
^{しょうかい}紹介します。

.....

ラジオの前の小学生の子どもたち、こんにちは。

^{わたし}私は新潟市立新潟小学校 校長の吉田隆です。

^{りんじ}臨時休校が始まって、^{やく}約3週間がたちました。^{とも}友だちや先生方に
^あ会えない^{さび}寂しさを^{がまん}我慢しながら^{うち}頑張っている皆さんに、^{げきれい}激励のメッ
セージをお送りします。

^{じぶん}自分で^{けいかく}計画を立てて一人で^{べんきょう}勉強している人、^{うち}お家の人が^{ようい}用意して
くださった^{ひる}お昼ご^{はん}飯を一人きりで^た食べている人もいでしょう。
^{ほんとう}本当に^{しんぼうづよ}辛抱強く^{りっぱ}頑張っていますね。立派です！

友だちと電話やメールで連絡を取り合ったり、オンラインゲームなどで遊んだりしている人もいますが、やはり、直接顔を合わせて、友だちと一緒に遊んだり、勉強したりできないのは、寂しく辛いものですね。

しかし、この我慢する経験は、決して無駄ではありません。

私の務める新潟小学校は「たんぽぽ学校」という愛称があり、たんぽぽの花をシンボルにしているのですが、皆さんはたんぽぽの根っこを見たことがあるでしょうか。

地上に出ている葉っぱや花は、手のひらに乗るくらい可愛らしいですが、根っこは長いもので、何と！1mに達するものもあります。地中から吸い上げた栄養を長～い根っこに蓄えて、毎年新しい葉を出し、花を咲かせます。そして、綿毛となって飛び立って、遠くの土地で新しい花を咲かせます。

この3月の皆さんの生活は、まさに、たんぽぽが根を伸ばし、地中から栄養を蓄える姿に似ています。寂しさに耐えて自分で頑張る力、工夫して学習計画を立てる力、そして実行する力などなど。この蓄えた力は、4月からの新しい学年や進学する新しい学校で花開くに違いありません。

そして、この3月の生活は、友だちの大切さや学校の大切さを改めて感じる機会になったのではないのでしょうか。また、学校に行けない皆さんを励ましてくれる家族の大切さも感じたことでしょう。長い休校の期間だからこそ、感じられること吸収できることがあります。

その臨時休校期間も、あとわずかです。もう少しの辛抱です。ひとまわり成長した、たくましくなった皆さんと再び学校で会える

ことを、先生方は^{たの}楽しみにしていますよ。

頑張れ！新潟県の子どもたち！

.....

明日は、^{そつぎょうしき}卒業式です。

^{かんせんよぼう}感染予防で^{きぼ}規模を小さくしての^{かいさい}開催ですが、6年生の皆さんに卒業^{しょうしょ}証書を直接^{わた}お渡しできることをとても^{うれ}嬉しく^{おも}思います。^{さんれつ}参列できない^{ざいこうせい}在校生の皆さんは、^{じたく}自宅から「6年生ありがとう」の^{きも}気持ち^{とど}届けてくださいね。

それでは、明日の卒業式、そして25. 26日の^{とくべつとうこう}特別登校日で皆さんと会えることを楽しみにしています。

臨時休校も残り1日になりました。これを校長先生からの^{さいご}最後の^{たよ}お便りにします。

長い長い休校期間、^{ほんとう}本当によく頑張りました！(^o^)/